

活 動 記 録 書

開催日： 平成 29 年 5 月 12 日(金) 晴れ	開催テーマ： 鎌倉幕府滅亡
開催場所： 稲村ガ崎・由比ガ浜・小町	記入者： 近藤 健
参加人数：	
会 員	男 28 名 女 5 名 計 33 名
ビジター	男 0 名 女 0 名 計 0 名
合 計	33 名
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：	
<p>コース： 稲村ヶ崎駅～十一人塚～稲村ガ崎公園～針摺（針磨）橋～成就院前～極楽寺切通～御嶽神社～鎌倉海浜公園（昼食）～骨塚～九品寺～乱橋～東勝寺跡・腹切りやぐら～宝戒寺（解散）</p> <p>今年 3 月、新しい駅舎となった江ノ電、稲村ヶ崎駅に集合。踏切を渡り十一人塚に立ち寄り。鎌倉攻め新田軍の武将、大館宗氏が極楽寺切通しを突破、由比ヶ浜方面へ進出した際、北条軍の猛反撃に遭い討死、最後まで残った 11 人は自刃。その霊を弔うために建立された。</p> <p>次は極楽寺川に沿って砂鉄を含んだ砂浜を歩き、鎌倉幕府滅亡に追い込んだ古戦場の顔を持つ稲村ガ崎公園へ。天然の要害だった鎌倉を、岬から海へ太刀を投げ引き潮を利用して攻め入った「新田義貞徒渉伝説」を伝える石碑が建っている。現在は高台から夕陽が沈む相模湾・江ノ島・富士山を望む景勝地として知られている。極楽寺川にかかる針摺（針磨）橋を渡り、極楽寺切通し途中にある成就院山門から、由比ガ浜を眺め石段を降り御嶽神社を訪ねる。石段を登ると左手奥には昔「太刀持ち稲荷」と呼ばれていた社殿があり、その後山岳信仰の人達の管理によって御嶽神社が合祀され、その呼び名になったという。境内には「御嶽」「法顕不動」武士の守り本尊と云われる「摩利支天」の石碑を含め、31 の石碑が所狭と建っていた。</p> <p>次は海浜公園で昼食を摂る。日差しは真夏を思わせたが、日陰は海からの涼風が通り抜けほっとする一時を過ごす。昼食後は、鎌倉簡易裁判所裏庭の万霊供養塔「骨塚」へ。昭和 28 年の発掘調査により、刀傷のある人骨が多数発掘され、供養のため建立されたという。</p> <p>次は九品寺を訪ねる。鎌倉幕府を倒した新田義貞が 3 年後、北条方の戦死者を弔うため尊敬していた風航順西を京都から招いて建立した浄土宗の寺。山門と本堂の額「内裏山」「九品寺」の文字は義貞の筆を写したものである。</p> <p>次は乱橋。鎌倉に攻め入った新田軍の勢いに押され、北条軍が乱れ始めた場所であったこと、また、1メートル足らずの川が氾濫したことから名付けられ、現在も地名が残っている。本覚寺の門前で小休止したあと、東勝寺跡・腹切りやぐらに向う。滑川にかかる東勝寺橋を渡り、青砥藤綱が川に落とす十文を五十文かけて探させた逸話を聞く。北条得宗家の氏寺として栄えた東勝寺は、軍事的防御拠点となっていたが、敗戦を覚悟した北条高時・一族郎党総勢 870 余名が自害し 150 年余り続いた鎌倉幕府終焉の地となる。東勝寺跡・山側の「高時腹切りやぐら」は宝戒寺の管理のもと歴史上の遺跡として保存されている。</p> <p>最後は白萩で知られる宝戒寺へ。北条一族の霊を弔うため後醍醐天皇の命により足利尊氏が、北条得宗家代々の屋敷跡に建立した寺である。本堂に入り正面の三尊像、十王像等を拝観する。</p>	
参加者の状況・意見など：	
<p>約 150 年続いた鎌倉幕府が、専制政治などに不満をもった御家人の反乱によって、わずか 1 ヶ月足らずで滅亡した歴史をたどると「創業守成」が胸の中をよぎる 1 日となった。</p>	
<p>次回の予定：</p> <p>6 月 1 日（木）10 時 江ノ電 腰越駅集合 江の島巡り</p>	